

僕はフフホトサマーキャンプで多くのことを経験しました。いろいろな国の人とコミュニケーションをとって、文化を学ぶことに喜びを感じることができました。

中国のほか、ロシア、韓国、モンゴル、タイからも参加者があり、最初は、英語での会話が大変で、話題がなくなったり、言いたいことが伝わらなかつたりしていました。もともと共通点がありませんだろろうと思込んでいたこともあります。でも、話すうちに、同じことが好きだとわかると、心が通じた感じがして、日本の友だちとは違うコミュニケーションができました。自分が好きなことを相手に伝えたいという気持ちのおかげで、変な英語になっても不安にならず、ジェスチャーもまじえて話してみると、意外とよくわかってもらえ、とてもうれしく感じたのを覚えています。何語で話すにも、伝えたいという気持ちが大事なんだなと、改めて感じました。

ホストファミリーにはフフホト市の観光地やレストランに連れて行ってもらいました。自分と同年代の子は日本のアニメや歌に興味があり、そのことについてたくさん話してくれました。日本語を勉強しているらしく、僕が話す日本語を理解してくれたり、訪れた観光地の歴史について翻訳機を使いながら日本語で教えてくれたりと、彼の日本への思いと気配りをとてもありがたく感じました。レストランでは石鍋やモンゴル料理をいただきました。日本と箸の長さが違ったり、食材の豪快さが違ったりして、食べるだけで体力を結構使いました。食事ひとつとっても、日本ではできない経験を味わえたと思います。

この一週間の経験で、参加者それぞれの国が素晴らしい文化をもっていることに気づくことができました。いま中国語を勉強中ですが、中国の文化についてさらに深く知りたいと思いました。

フフホトでサマーキャンプを開催してくださったこと、また、岡崎市国際交流協会から参加の機会を頂いたことを心から感謝しています。

